

# 始める前に 先生に聞いてこっ

せや!!



松原の  
ええとこ発見隊

阪南大学 × 広報まつばら 学官連携企画  
問合せ 秘書広報課 (☎334-1550)



広報まつばら7月号から始まる「松原ええとこ発見隊」。一緒に松原を探検する阪南大学国際コミュニケーションゼミの皆さんを教えている神尾登喜子先生を突撃インタビューしました。

## 神尾先生に質問！

〈広報担当（以下P）〉神尾先生が、今回の企画に対して期待することは何ですか。

〈神尾先生（以下K）〉学生たちに、日常スルーしがちなものに、ふっと目を向けてもらう、意外な発見とた



くさん出会ってもらうことです。

あとは、今回、彼らはきつと幾つもの「はじめて」を体験するでしょう。「はじめて」のインタビュー、「はじめて」の場所や人…「はじめて」を楽しめる人になってほしいなど。

いざという時、物おじせず、踏み込んでいける人格に成長すること、就職活動や社会人生活にきつと役立つはずだから。

〈P〉去年度（広報まつばら3月号参照）の「ええとこ発見隊」を踏まえ、学生たちに「もっとこうしてほしいところ」はありますか。

〈K〉インタビューした後に、もっと自分たちで調べたり、深めたりする時間があれば良かったと思います。

〈P〉市に求めることは？

〈K〉逆に聞きたいのだけれど、市は学生に何を求めているのですか。〈P〉えっ、そうですね…企画の主旨が若者目線の広報作りなので、もっとコミュニケーションを取りつつ、学生主体で動いてもらえたらなあ…。

〈K〉うーん、私はむしろ、市民の人たちから「うちも載せて！」という声が上がればいいと。そういう中から学生が選択できる環境があればいいのかなと考えています。始めから学生に投げられても彼らも困るだろうし。

〈P〉確かに…。将来的に、先生がおっしゃるように、市民と学生と市がお互いに高め合えるような、そんな企画になればいいですね。そうなるように、我々も頑張ります！



**阪南大学  
あべのハルカスキャンパス  
開設記念公開講座**

**6月28日(土) 内容** 阿倍野から新世界、新世界からミナミの観光まちづくりの現状と課題 **講師** 松村嘉久さん（国際観光学部教授）

**7月19日(土) 内容** 3・11以後の日本経済を振り返る〜公共経済学の視点から **講師** 下地真樹さん（経済学部准教授）

**9月27日(土) 内容** USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)に見るおもてなし **講師** 山内孝幸さん（経営情報学部教授）

**10月25日(土) 内容** 111年の時を経て・天王寺周辺の変貌〜1903年第5回内国勧業博覧会から2014年への近代都市風景 **講師** 神尾登喜子さん（国際コミュニケーション学部教授）

**11月29日(土) 内容** 大阪天王寺界隈をマーケティング視点から探ると！ **講師** 西口真也さん（流通学部准教授）

**時間** いずれも午後2時〜3時10分  
**対象・定員** 一般社会人、先着100人 **申込み** 来場（あべのハルカス23階）・FAX(06・6654・5580)・Eメール(hanuka@office.hannan-u.ac.jp)で阪南大学あべのハルカスキャンパスへ。

- ニュース原
- 情報ひろば
- 労働税
- 安全
- 環境
- 談育相教
- 健康
- 上下水道子育て
- 消費生活
- まちづくり
- 福祉人福
- 年金その他
- 各種相談
- 子育て応援コーナー
- 歴史ウォーク
- 催しほっくす
- 講座イベント
- スポーツ
- 図書館
- 地域交流
- みんなの広場
- イベントガイド
- HANNAN x PRESS + MACKEY